



しいの実
たんぽぽ
みず



2023.5.30 円町まふね隣保園

しいの実ぐみ

約2ヶ月が経ち、子どもたちの姿は驚くほど変わってきています。ミルクの飲み量が増え、安定してきている。一人遊びを始めても、人と遊ぶようになってきました。思いを言葉で伝え、あそびに一緒に遊んでいると、笑顔が溢れ、声も上げて笑うなど、様々な場面で「慣れてきてくれているのだな」と感じています。少しずつ「慣れた」という生活リズムとして、それぞれの子どもの思いを大切にしながらも、生活リズムをつけていきたいと思っています。

園での生活リズムと家庭での生活リズム

- 登園後、主に1歳未満の子どもの場合は朝寝をし、目安は30分。
- 子どもたちが日中元気に遊ぶことができるよう、体力を回復するための休憩です。
- その後活動的に遊び、室内や屋上で身体を動かして遊ぶ。散歩に出かけて、太陽を浴びたりなど十分に楽しみます。そして10時40分頃から離乳食。
- 乳食を食べ、授乳し、お腹がすいたら午後に向けて身体を休めるための午睡です。これが約2時間です。午睡の時に起きた子どもにはおやつを食べ、ミルクを飲み、満たした状態でまた楽しく身体を動かすというリズムです。
- その前後に家庭のリズムがあります。

「とれが」の時間を整えてあげるとそれが繋がって全てが良くなっていくのと、変わった言葉があります。例えば早く寝早起きを目標に夜8時に寝て、朝7時に起きると活動的になるには目が覚めて元気いっぱい遊ぶことができます。そうすると午睡の時間をしっかりとることが出来てまた元気に遊び、疲れた身体で夜ぐすり眠ることができるといったように、整えると繋がっていき、理想のリズムができていきます。

様々な家庭があり、お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、それぞれの子どもの生活リズムも違うと思います。個人差も大きいですが、1人の人間としてリズムが作られる大事な時期です。自分たちではできないからこそ大人たちが基礎を作っておく必要があります。これから毎日を元気に楽しく過ごすため、一緒に色々なことを考えていけたらいいなと思っています。

子どもたちにとって家庭は安らぎの場所であり、お母さんやお父さんに甘えられる大切な時間です。今しかできないことを楽しんで、成長を一緒に見守っていきましょう。

天気の良い日には散歩に出かけ、気温が高く暑い日には屋上で水あそびをして遊んでいます。梅雨に入り、室内での活動が増えるかと思いますが、身体を動かしたり、仲間と遊んだりしながら楽しく活動できるようにしたいです。

季節の変わり目でもあるので、体調管理に気を付けて過ごしていきたいと思います。

たんぽぽぐみ

色々な友達と

クラスだけで散歩に出かける日もありますが、他クラスとの交流でお兄さん、お姉さんと手をつないで一緒に歩いたり、散歩先で一緒に過ごしたりと、色々な友達と関わって過ごすことの多さに気づいています。気温の高い日には屋上で水あそびを楽しんでいます。たんぽぽ組の子どもたちも生活の流れに慣れてきて、散歩から帰ると、窓際の柵のところに帽子を掛けにいく姿や、着替えるとき給食を食べに椅子へ座りに行く姿、食後着替えると自分のお布団へ寝に行く姿が見られるようになってきています。



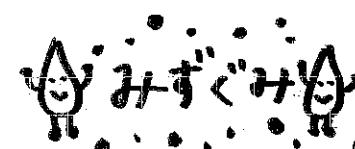
友だちのことを指して「○○くん」と言ったり、着替える服で「これは○○ちゃんのものだね」と言った保育者の言葉を聞いてその友だちに渡してあげたり、

お昼寝起きにまだ寝ている友だちがいて「○○くんまだ寝てる！」と指さして保育者に伝え、起きるまで待たせたり、友だちへの思いも高まってくるようです。また、高まってくるからこそ、友だちの持っているものが気になって取り合いになることもあります。自分の思いを言葉でしっかりと伝えることはまだ難しいですが、「いやだったね」「かいてる言おうね」など気持ちを伝え、受け止めてくれる姿に寄り添い、仲立ちしていきたいと思います。

「～したい!」

自分の思いがはっきり出てきて「～したい!」「自分でやりたい!」という思いが段々膨らんでいきます。大人が手を助けてあげる時には「イヤ!」ということも増えていきます。オムツやズボンをはく場面でも「自分で!」という姿も少しずつ見られるようになってきています。

うまくいかなくて、思い通りに行かなくて、泣いて、ひっくり返って、またやり直そうとする姿も出てくるかもしれません。そのような姿も、この時期に存分にさせることが成長の過程でとても大切なので、保護者の方と家庭や園の様子を共有して、一緒に見守ってあげたいと思います。友だちの姿を見て「ほめようね!」という小さな気持ちや、自分で「したい」という意欲的な気持ちを大切にしながら、必要に応じて援助し、出来た時の嬉しい気持ちや、思うように出来なかった時の悔しい気持ちを一緒に共感していきたいと思います。



進級から2ヶ月が経ち、新しい環境、生活

の流れにも少しずつ慣れてきて肩の力が抜けてきた子どもたちです。室内でゴロゴロ寝転んでいたり、トイレに行き、水あそびをしていたり...と「がんばらなくてもいい自分」を出せるようになってきたかな、安眠できる場所になつてきているかなと感じています。



お散歩楽しいよ

今月に入り沢山お散歩に出かけるようになり、園の周辺だけでなく、だるま寺や御旅所、公園等で白々楽しんでいます。この時期の子どもたちは直立歩行が安定し、走ることも自由になります。そして力をともなう動きや、より複雑な動作の調整ができるようになりはじめます。たとえば障害物をまたいだり、くぐったり、物にぶつかるなどの動作ができるようになり、てきます。御旅所で石垣をよじ登ったり、木登りしたりする姿もあれば、公園では金魚橋の下を通るときに少し豆を下げ、くぐるような姿もあります。だるま寺では少しの段差をビョンと両足で飛び降りたり、飛び降りようとする姿も見られます。それは自分の頭の中にある簡単な「こんなふうにからだをうごかさう」というイメージで自分の身体を動かすことが可能になってきたということです。これからお散歩やリズム、大型遊具への挑戦を通して、イメージ身体を動かす楽しさを知ってほしいと思います。そしてみんなで「今日も楽しかったね! また行こうね!」と次への楽しみを膨らませ、見守りをサポートしていきたいと思っています。

*お原稿

汗をかき季節となり、衣服の着脱の際、サイズが小さくなり、ジヤストサイズだと自分での着脱が困難になります。少し大きめの着脱しやすい衣服の用意をお願いします。

